

白山市発達相談センターとは…

白山市では、発達障害などで乳幼児期や学齢期のお子さんの発達について悩んでいる保護者の方をはじめ、就労や人間関係などのつまずきを抱えている方の相談に応じ、保健・教育・福祉・就労・医療関係部署と連携をとりながら、発達障害の早期発見と継続かつ一貫した支援を行っています。

それぞれのライフステージ（年齢）に合った支援をするための体制整備や取り組みの充実を図り、一人一人が安心して生活できることを願いながら進めています。



11月



QR 「手指の発達に対する理解～遊びを通して育まれる力～」

講師 キッスルームトマト 作業療法士 中川 等史(なかがわ ひとし) 氏

内容 手先の発達の理解をするために、手の役割から手を使うための上肢機能、座位姿勢についてなど機能面についての話しの後、1歳から1カ月ごとに成長段階を区切ってその時期の手の発達を踏まえての支援方法や発達を促す遊びなど専門的にお話いただきました。

《支援が上手くいくためのポイント》

★手を使った遊びや道具の操作が上手くいかない理由をまずは確認しましょう

- 手の動きが不器用（力、安定性）？
- 目で追うことが苦手？
- 手の感覚が曖昧で力加減が出来ない？



参加者の声（保護者）

- ✕子どもを見ていて「どうしてやろうとしないのかな」「どうしてできないのかな」と思う事がありますが、子どもの苦手なポイントを見つけて、遊びに取り入れ、伸ばす手助けをしてやれたら良いと思いました。
- ✕普段、自分で何気なくしていて、子どもが苦手としていることをどう支援していったらいいのかわからなかったが、手指の動きが苦手という事だけでなく、それまでに至る体の発達にも、これからは目を向けていこうと思えるようになりました。

参加者の声（支援者）

- ✕器用さが、乳幼児期の色々な体験（遊び）が土台になっているというお話に大事な時期を逃すことはできないと改めて感じました。
- ✕赤ちゃんの時から指・手の動きによって大きくなってからののはさみの使い方、お箸などに大切なことがわかりました。



♡ 「幸せの太鼓を響かせて～INCLUSION～」

参加者の声

感動した、いい映画やった。
映画よかったわー感動したわー。
感動して涙が出たわ。

来年度も上映会を企画
しています。見逃した方
は是非ご覧ください。



🎵 「ミュージックケア」

講師 日本ミュージック・ケア協会 認定指導者 吉田 茂樹(よしだ しげき)氏

参加者の声

♪ 体をピアノにする曲や鈴などの大き目の音のものを喜んでいました。
 ♪ 次はなに？と次をとっても期待していて、あっという間に時間が経ちました。
 ♪ 子ども達は音楽が大好きで曲がなると、自然に体が動き出すので、気持ちもリラックスができて本当に良いものだと感じています。クラシックの曲にも併せてできることがすごいと思います。自分自身も楽しむことができました。



👉 基礎編「発達障害(自閉症スペクトラム)～医師の立場から～」.....

講師 公立松任石川中央病院 精神科・神経科医師 武藤 宏平(むとう こうへい)氏

内容 発達障害の診断と薬物療法について

基本的な発達障害についての定義や合併症、診断名や診断基準の変化、年代別の主な特性、薬物療法についてご講義いただきました。グレーゾーンという観点からは、『あくまで日常生活に支障がある？』を視点に支援を考えることなどお話をいただきました。

《支援の基本的な考え方のポイント》

★ライフステージ（児童期、思春期、成人期）を通しての支援目標

- ・その人らしい生活の質の向上であり、発達特性をなくすことではない
- ・穏やかな、肯定的な接し方と環境設定（わかりやすい、予測しやすい、視覚化など）
- ・発達特性の短所を長所で補えるようになること

★薬物療法について

- ・特定の薬物を用いて適応させようとしても限界や無理が生じる可能性が高いため、補助的に使うものという意識を持つ



参加者の声

☆薬の使用方法や発達障害についての診断基準などとても分かりやすい講演で勉強になりました。
 ☆年々、自閉症の概念や呼び方が変わるので驚きでした。毎年新しい情報を取り入れていかないといけないことがよく分かりました。

👉 就学サポート相談会「わが子を知ってもらうための申し込み書を作ろう！」

内容 保護者自身が学校の先生に対して、子どもの特性の理解を図るとともに、望ましい支援や配慮の内容につなげるために、申し込み資料を作成するための説明会を行いました。

《作成の留意点》

- ①字数が多すぎると、本当に伝えたいことが薄れていく可能性があるため、簡潔に、大きくまとめて書くようにすることがポイント
- ②項目は3つ程度とし、箇条書きにすることが理想
- ③「できないこと」を伝えるよりも、「上手くいっている」支援内容を優先して盛り込むよう心がける



参加者の声（就学サポート相談会より）

- ♥言葉でどう説明したら良いのか、難しく思っていたので、スタートが楽になった。
- ♥送り書は「上手くいっている支援内容」を書くことがわかって良かった。「できないこと」ばかり考えていたので、作成のポイント、見本を使っただけの説明で、よかったです。
- ♥就学サポートに初めて申し込んだ時には、医療機関にかかっているわけではないので、今回の説明会は必要ないかなと思っていたのですが、年長になってからの発達が良いことも悪いことも著しく進み、この会に参加してよかったと思います。



内容

第1部 当事者の体験談 第1弾【ADHDはベストパートナーなのだ！】

『発達障害とは一生の付き合いだからこそ、楽しく前向きでありたい！』。発達障害の受容と、働く上での生きづらさを乗り越えるための工夫の体験談を、発達障害 YouTuber・みっと氏よりお話をいただきました。

③ 「発達障害のある人の就労について」

講演会&当事者の体験談

講師 石川県発達障害支援センター
心理判定員 山下 いつみ 氏



みっと氏の体験談のダイジェストは、YouTube からご覧になれます(^0^)/



第2部 講演会「発達障害がある人の就労について」

「福祉サービスを利用しない就労」と「福祉サービスを利用した就労」についての説明や就労継続するために必要なこと、小さい時から大切にしたい事をお話いただきました。

- 小さい時から支援を受けることで、成功体験をもとに人に対する信頼感をもつことができる
- 小さい時から、特性に合わせて日常生活の中で金銭感覚を培う など



第3部 当事者の体験談 第2弾 就労移行支援事業所を利用しながら

一人暮らしをされている方より今の仕事内容や小さい時のこと、一人暮らしの良い事悪い事、余暇の過ごし方など率直にお話いただきました。

参加者の声（当事者）

- ◎実体験が聞けてとてもよかったです。
- ◎当事者会の支援をみんなで考えられたらいいなと思います。

参加者の声（保護者）

◎いろいろな方がいること、いろいろな就労形態があることがわかり、また小さな頃から支援を受けることの重要性を改めて感じました。

参加者の声（支援者）

- ◎当事者の方々のお声が聞けて良かったです。自分の事を話すのは勇気があると思います。
- ◎3部構成で、いろんな視点でお話を聞くことができるとてもよかったです。発達障害のある人がどのようにして、自分を受け入れ、周囲に理解を求めていくのかがよく分かり、とても参考になりました。

発達相談センターのイメージキャラクターはっちゃんについて

名 前：白山 発太郎（はくさん はつたろう）

名前の由来

発達相談センター：(は)つたつそだんセンター

倉光八丁目16番地1：くらみつ(8)ちょうめ16ばんち1

漢字：周りに(発)信しながら、みんなで手をつないで(朗)らかに育てほしいという願いを込めて！



モチーフの由来

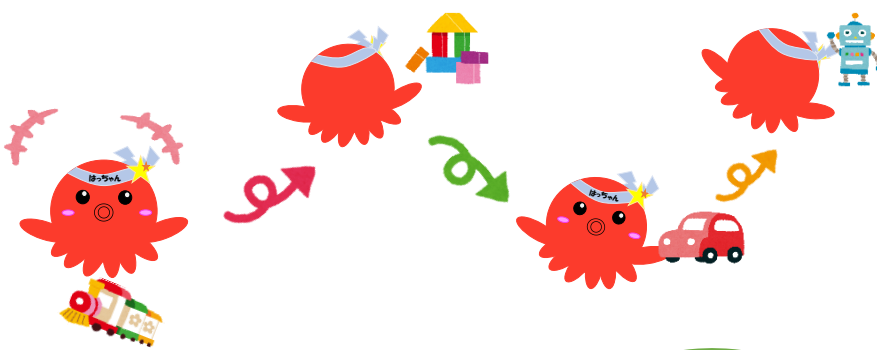
①発達を親しみやすい言葉にした「はっちゃん」 ⇒ 「はっちゃん」の言葉のイメージ

②発達相談センターの住所である「倉光八丁目」 ⇒ 「八」のイメージ

①②のキーワードから、タコをモチーフにしました。

◎3さいの時のはっちゃん～エピソード&ちょっと工夫～◎

『じっとしていないので目が離せない、エネルギーッシュなはっちゃん』



まずは

《様子を見てみましょう》

- ①親を気にせずどんどん行動してしまいますか？
- ②ひとつの遊びにどれくらい集中できますか？
- ③その場で何をするか分かっていますか？
- ④大きい音やにぎやかな場所が苦手ですか？
- ⑤体を思いっきり動かす時間や場所はありますか？

関わりや環境の工夫をすることで
気になる行動が変化していくことが
あります。困ってストレスを抱える前
にちょっと考えてみましょう

そして

《ちょっと工夫》

- ①まずは親子で一緒にいて楽しいと思う気持ちを育てましょう
- ②無理せず集中できる時間の長さや興味をもてる遊びを見つけて、それに合わせてみましょう
- ②気になるおもちゃは見えないようにするなど、落ち着いて過ごせる方法を探してみましょう
- ③具体的に写真や絵などの視覚でわかるものを見せたり、何を
する時間なのか具体的に伝えたりしましょう
例えば、「走らない」→「手をつないで歩こう」
「少し待って」→「10数える間座っていて」
- ④音などの感覚的に過敏な時は、我慢させずに静かな場所に行きましょう
- ⑤安全な場所で思いっきり動ける場所と時間を作りましょう

白山市発達相談センター

〒924-0865

石川県白山市倉光八丁目 16 番地 1

Tel076-276-8819 Fax076-276-6291

白山市発達相談センターだよりは

白山市ホームページからダウンロードできます。



はっちゃんから一言
次回の発行は、平成
29年8月予定だよ♪
またね！